

歓待と生新の萬代六景

1. まちづくりの視点



■ 日本海交流都市 NIGATA
 新潟は、海新として古くから日本の玄関口であり、人と物の交流も盛んに行われてきた。
 今も成長著しい東アジアやロシアとの交流の場が見込まれる。

■ 新潟市で要である萬代橋地区
 萬代橋地区は、海新を育んできた古町地区と新島地区という新しい島の間に、信濃川という自然障壁と都市軸とが交わる場所でもある。時間と空間の結節点に位置する、都市の要である。

■ 東アジアで都市間競争が激化する将来においても、新潟が「プロセス」を發揮し続けるために、以下の事項を萬代橋地区に於て「展開」することが必要である。
 ⇒ 戦略性をもった地区の将来像（プランニング）
 ⇒ 将来像を空間化する技術（プランニングとデザイン）
 ⇒ 空間を実現するための制度的・事業的な手法（スキーム）

2. 萬代ブランド： MICE（歓待）と LIFE（生新）

MICE 歓待

国内外から来街者を招き、NIGATA流の「おもてなし」で迎える

- MICEとは
 MICEとは Meeting（会議・研修・セミナー）、Incentive tour（視察・招待旅行）、Conference（大会・学会・国際会議）、Exhibition（展示会）の頭文字をとった造語で、ビジネストラベルの形態を指す。
 一度に大人数が動くだけでなく、一般の観光旅行に比べ参加者の消費額が大きいため、MICEの誘致に力を入れる国や地域が増えている。
- 新潟市・萬代橋地区における MICEのポテンシャル
 MICEにおいて重要なことは、開催地ならではの「おもてなし」ができるかどうか、にかかっている。
 萬代橋周辺には MICEの受け皿となるコンベンション施設やホテルが集中的に立地していることに加え、伝統文化が残る古町地区に隣接しており、MICEを誘引するポテンシャルがあると考えられる。
- MICEによる萬代ブランドの向上
 国際水準のシティホテル、良質なビジネスホテル整備、公共交通の充実、インフラックスベースの創出、多言語対応の応答など、都市機能の高度化を進める。
 加えて、信濃川の河川敷空間において、新潟の地域資産のPRイベント（「酒の雫」「花の囀」「食の囀」）の開催を提案する。NIGATAを世界・日本にアピールする。

LIFE 生新

創造的に生き生きとしたライフスタイルを萬代橋地区から発信する

- LIFEとは
 MICEが国内外からの投資を積極的に呼び込むための都市ブランド力の強化とすれば、LIFEは生活者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を高めるプランニングである。「住んでみたい街」「住みたい街」をつくる。
 Lifestyle（ライフスタイルの提案）、Incubation（起業支援）、Support（起業支援）、Fun（楽しさとアメニティの創出）、Ecology（地球環境への配慮）の4つを指す。
- Lifestyle：魅力的なライフスタイルの提案
 快適で高質な生活を支える文化・生活機能の充実、徒歩中心で生活が可能な街、自然の豊かさを感じる街
- Incubation：新潟発の起業支援
 SOHOやインキュベーション・スペース、地域ファンド等による新潟発ベンチャー企業への支援
- Fun：都心ならではの楽しさとアメニティの創出
 歩くことが楽しい賑わいのある通りの創出、河川沿道の価値を高める空間形成、魅力的な商業施設の展開
- Ecology：世界に向けて新高度のある低炭素型まちづくりの推進
 建築物・公共空間の緑化の推進、自然エネルギーの活用と小規模電力網（マイクログリッド）の整備

3. 萬代プランニング： 間を縫い、間を編む

Step 0 (現状) 切れた糸、断片化した間
 Step 1 賑わいという糸で間を縫い合わせる
 Step 2 間を編み、色を乗せる

歩行者の動線が自動車交通や地上・河川敷のレベル差により断片されているため、回遊性に乏しく、連続した賑わいの形成が難しい状況にある。また、歩行者が快適に楽しく歩くことのできる街路が少ない。

都市軸にLRTを通し駅地区と古町地区を縫い合わせる。橋詰部分で河川敷レベルを編み込む。回遊できる広場空間（萬代スクエア）を創出して、都市軸から南へ糸を繋ぐ、歩車共存的街路を縫い、人のための街路をつくる。

LRT駅を中心に徒歩圏で生活できる地区単位（CCU: Compact City Unit）を編み込む。ミクスチャーを基調としながらも「迎える」「働く・集う」「魅せる」「住まう」といった特色をもった用途を誘導していく。

4. 萬代デザイン： ブランド力を高める都市イメージ『萬代六景』の創出

一の景 粋

MICE×LIFE Incentive tour・Exhibition・Fun

萬代橋で特筆すべきデザイン的特徴の一つは、六連のアーチである。それをちなみ、都市イメージを担う橋は、萬代橋の景観的な価値をより高める六つの代表的な景観を「萬代六景」として創出する。それぞれの六景は、漢字・文字のイメージから展開される。

- ① 地域の歴史や文化、自然を体感する定期的なイベントの開催（特産物等地域資産のPR等）
- ② 萬代橋の橋詰に位置するゲートタワーとランドマークとなる建物を結び、秩序を持ったメリハリある建物群（スカイライン）の形成

・ 萬代橋を中心とするスカイライン
 ・ 地域資産を活用した和傘
 ・ 地域の歴史文化を体感する「粋」な賑わい

二の景 寛

MICE×LIFE Incentive tour・Lifestyle・Fun

賑わい、憩いが線的に展開する寛（くつろぎ）の“生活流”

- ① 沿道建物低層部におけるヒューマンスケールの賑わい・憩いの連続
- ② 地域ごとのニーズに対応する生活支援機能の導入（河川敷散策路との連携・カフェ・子育て支援等）
- ③ 沿道建物の壁面後退による民地内での歩道状空間の確保

・ 壁面後退歩道と一体的な歩行空間の整備
 ・ 河川敷散策路との連携

三の景 繁

MICE×LIFE Meeting・Exhibition・Lifestyle・Ecology

緑が繁り、川を感じる歩車共存的“商景”

- ① グランドレベルを重視した接地性の高い回遊性と、歩車共存を実現する道路形状（シケイン）
- ② 歩行者環境を向上させるストリートファニチャーの設置
- ③ 川へ向かう緑・見通し・動線の確保
- ④ 広告ルールによる秩序ある歩車共存的景観の創出

・ 広告ルールによる秩序ある景観形成
 ・ 地域を挙げたイベントの告知・広告
 ・ 川へ向かう緑・見通し・動線の連続性
 ・ ベンチ・花壇等による快適な歩行者環境

■ 軸・拠点

- ◀▶ LRT・車・歩行者
- ◀▶ 車・歩行者
- 萬代スクエア
- ◎ LRTステーション
- 河川沿道の寛ぎの空間（民地内）沿道建物の更新にあわせて歩道状空間を整備するとともに、建物低層部に賑わい用途を導入する。
- 緑のネットワーク
 信濃川及び河川敷からの緑と生態系を、街へと繋げることで、街に潤いをもたらす。
- SS サポートスポット
 交通結節点に隣接して位置し、交通機能、生活支援機能を補完する。民地内での整備を誘導する。

■ ゾーニング（長期的に誘導していく用途）

迎える	来街者を迎える、おもてなしエリア、良質な宿泊施設や飲食、物販店など。	宿泊施設	レストラン・カフェ
魅せる	新潟の文化・情報を発信するエリア、商業施設やギャラリー、放送局など。	商業施設	商業施設
住まう	創造的な都心居住環境を誘導するエリア。集合住宅やSOHOなど。	住宅施設	SOHO
働く	ビジネス機能を集積させるエリア。高次業務機能、業務サポート機能など。	業務施設	会議施設

■ 街区単位の再編 CCU (Compact City Unit)

LRT駅をベースに徒歩圏の街区単位（CCU）を設定

200-300m

- Lifestyle 高齢者も楽しく安全に徒歩で生活できる単位
- Energy 小規模の電力供給網（マイクログリッド）単位
- Car 付置義務駐車場を隔地整備する単位
- Green 信濃川の生態系を街に繋げる緑のネットワーク
- Community エリアマネジメントの基礎単位

■ 軸・拠点

Scale 1:5000 0 50 100 200m

■ LRTについて

LRTは誰もが利用しやすい環境にやさしい移動手段であり、また車庫・停留場のデザインを工夫することで街のシンボルとして、賑わい創出に寄与できるメリットがある。LRTの路線としては、新潟駅前から萬代橋地区・古町地区を介し、市役所・公園・ホールに至る経路を想定した。

■ ソフト戦略① 萬代橋周辺における地域資産PRプロジェクト

酒・花・野菜・魚介といった、新潟の特産物のPRイベントを、新潟の歴史と自然を体感できる萬代橋地区にて開催する。萬代橋・信濃川での特産物PRイベント、それを県産和紙と竹材でできた和傘が色に彩る。その光景はまさに、「新潟資産のショーケース」である。これは来街者にとっても最高の「おもてなし」となる。

春 花の陣 色鮮やかな花々が河川敷を埋めつくす…スズメバチを買って帰ろう。
 夏 酒の陣 萬代橋を見ながら冷えた越乃寒梅を楽しむ…仕事終りが待ち遠しい。
 秋 魚の陣 魚介と野菜を使った美味な料理…この時期は夏のお弁当は不要だ。
 冬 酒の陣 舞台上で魚と日本酒を熱燗で頂く…またまた仕事終りが待ち遠しい。

■ ソフト戦略② 「NECO」カードプロジェクト

「NECO (Niigata ECO)」は、エコポイントがたまるとICカード。LRT利用でも、商業施設利用でも、駐車場・駐輪場利用でも、NECOにポイントが貯まる。貯まったポイントはLRT料金の代替として使用でき、LRTの利用を促進する。新潟都心に来る時は、このカードが1枚あればOK!

■ ソフト戦略③ 萬代ミツバチプロジェクト

信濃川周辺の環境と生態系を感じるために、信濃川からの緑や生態系をネットワークし、周辺建物の屋上やミツバチを飼育する。ミツバチがハチミツを採取したことから、近隣の木々は受粉し、街路の樹木は実を付ける。都市環境を身近に感じることが出来る。採れたハチミツで周辺のケーキ屋さんや和菓子屋さん等で様々なスイーツを製作し、萬代ならではの「おもてなし」に華を添える。

■ ソフト戦略④ 萬代橋歴史アプリプロジェクト

スマートフォン・タブレット端末のGPS機能を活用して、萬代橋地区への来街者が、気軽に萬代橋の歴史に「触れられる」システムを構築する。

① 萬代橋 ② 位置情報発信 ③ 萬代橋歴史アプリ起動

GPS 来街者 歴史 管理 履歴 萬代橋を学ぶ

<システムイメージ>

■ 萬代六景の視点場： 下のバース番号と対応

至みなどびあ 至朱鷺メッセ 六の景 柳都大橋 萬代橋 萬代スクエア 信濃川 八千代橋 至りゆーとびあ 陸上競技場 新潟駅